

【若手・中堅の研究企画実務に携わる方 向け】

コア技術ベースのテーマ創出と 知財視点でのテーマ強化法

～ 研究開発者必須のコア技術視点・知財視点 ～

《開催要領》

●日 時● 2016年 11月22日(火) 13:00～17:00

●会 場● 企業研究会セミナールーム(東京:麹町)

講師 高収益企業支援家・弁理士 中村大介氏(株式会社如水 代表取締役)

講師紹介
ベンチャー企業を設立後事業を真似されて売上・利益が下がった経験、リーマン・ショックで売上が1/3になった経験を通じて、安定的な高収益を実現するにはどうすればいいか、痛いほど考えるようになりました。高収益化の理論や事例から様々な施策を考えて実践しています。コンサルティング経験を通じて、高収益企業には、文系と理系、営業と技術、フロントオフィスとバックオフィス、全てを横断的に理解して統合的なマネジメントが出来る次世代経営者が必要だと痛感しています。次世代経営者の目は若手・ミドルマネジメント人材です。機械、電気、ソフト、化学等の分野、ビジネスと法律、技術と営業、ほとんどの職種を横断的に理解、マネジメントできる人材の育成が関心事です。どうすれば技術系人材の経営・ビジネス視点ができるのか、営業系人材の経営視点ができるのか、考えて実践する日常を送っています。



《開催にあたって》

現在、多くの企業に欠けているのは、コア技術ベースのテーマ創出活動とその強化である。景気に不透明感が増す中で、今後は筋の良いテーマのみが生き残ることになるだろうと思われる。そうすると、筋の良いテーマ創出が課題である。筋の良いテーマとは、①コア技術が生かされており、不足技術が明確なこと ②提供価値が共感できること ③知財的に見てテーマに漏れないことが挙げられる。いずれが欠けても審査段階ではねられるだろう。本セミナーでは、創出段階から筋の良いテーマにする方法を提案する。コア技術を活かすにはどうしたら良いか、提供価値の共感を得るにはどうしたら良いか、知財的に漏れない検討をするにはどうすればいいか、である。

《申込書》一般社団法人 企業研究会 セミナー事務局宛

FAX:03-5215-0951

*申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

*申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■受講料:1名(税込・資料代含)

正会員 34,560円(本体価格 32,000円) 一般 37,800円(本体価格 35,000円)

161565-1010 コア技術ベースのテーマ創出と知財視点でのテーマ強化法			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属	職 役	
E-mail			

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申込み頂けます。

後日(開催日1週間～10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。

※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP] → [公開セミナー] → [よくあるご質問])

※お申し込み後のキャンセルはお受けいたしかねますので、代理の方のご出席をお願いします。

■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp

TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町 5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

コア技術ベースのテーマ創出と知財視点でのテーマ強化法

11/22
(火)

13:00

1. テーマの分類

- (1) テーマには大きく2つあることを理解する
- (2) 事業の基盤技術に関連したテーマ
- (3) 将来事業の基盤技術を獲得するテーマ

2. テーマ創出手順

- (1) コア技術の認識と理解の方法を理解する
- (2) コア技術ベースのフォーキャストの方法を理解する
- (3) フォーキャスト技術のバックキャストでの理由付け

3. 事例紹介: コア技術の認識・定義と横展開

- (1) テクノロジープラットフォーム整理法
3M や日東電工の事例
- (2) コア技術整理法
富士フィルム、キヤノン
- (3) 事業を見据えたコア技術の獲得
キヤノン、富士フィルム

4. 事業の基盤技術に関連したテーマの創出

- (1) プロジェクトの全体像と進め方
- (2) 技術の棚卸しとコア技術の認識
- (3) 事業の未来を予想する
- (4) PEST では特にテクノロジーと顧客の未来を予想する
- (5) シナリオの設定
- (6) 獲得技術の具体化
- (7) ソーシング計画の策定

5. 将来事業の技術を獲得するテーマ

- (1) 3つのアプローチ
①技術ベース
②未来社会シナリオベースアプローチ
③顧客課題アプローチ
- (2) アイデア創出理論を理解する
- (3) アイデアからテーマにする方法と理解する

6. 知財視点でテーマ強化法

- (1) 5Force を正しく理解する
- (2) 必要な知財をマップから洗い出す方法を理解する
- (3) 知財の取得は○○○○に考える、と理解する
- (4) 論文よりも知財で研究者としてのバリューが上がることを理解する

7. まとめ

※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせていただきます。

17:00

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。